

## 組織改革の基本方針

平成 28 年 6 月  
公立大学法人 兵庫県立大学

中期計画に掲げる「新学部の開設を含む学部・学科等の再編検討」に関し、平成 27 年度に大学改革推進本部において取りまとめた「組織改革の基本方向(中間まとめ)」を基に、組織改革に係る今後の検討の前提となる基本的な枠組として、この基本方針を定める。

今後、本方針に基づき、目標年次での再編を目途に、大学改革推進本部において中間まとめの内容も踏まえて更なる検討を進めるものとする。

なお、中期計画に掲げる「新学部の設置検討」については、経済学部・経営学部の再編の中でその趣旨も踏まえた検討を行うこととする。

### 1 経済学部・経営学部の一体改革（新学部の設置を含む）

#### (1) 理由・目的

グローバル化への対応、大学の地域貢献への期待等の社会のニーズに対応するとともに、大学間競争を勝ち抜ける学生にとって魅力的で特色のある教育組織とする。

#### (2) 方向性

ア 経済学・経営学をベースとする次の 2 つの学部に再編する方向性の下で、具体的な教育課程を検討し、改めて 2 学部の内容を明確化した上で再編を行う。

- ① 経済・経営の体系的な専門教育と融合教育により、グローバル社会で活躍する人材を育成する学部
- ② 本学が有する多様な教育研究資源を結びつけた特色ある教育課程により、地域社会の核になる人材を育成する学部

イ 入試は学部単位を基本とするが、必要に応じて 2 学部の入試を一本化することも検討する。

#### (3) 再編の目標年次

平成 31 年度

### 2 環境人間学部の特色化

#### (1) 理由・目的

これまでの取組実績と学生の支持を踏まえ、教育目標として「地域人材の育成」を掲げ、各コースが育成する人材像を「見える化」することとし、社会ニーズを踏まえたコースの再編と専門科目の体系化を行い、「緩やかな専門性」を更に高める。

#### (2) 方向性

環境に関する政策学と技術学を人間学を基軸に融合した文理融合の教養型学部との理念を堅持し、1 学科体制を基本に環境人間学科の 6 コースを 4 コース程度に再編する。

#### (3) 再編の目標年次

平成 30 年度

### 3 情報系大学院の今後の展開

#### (1) 理由・目的

計算科学と情報通信技術の高度な発展を踏まえ、応用情報科学研究科とシミュレーション科学研究科を統合することにより、教員層を厚くし、その相乗効果や補完効果によって、時代に即応した教育研究分野の柔軟な選択を可能とするとともに、先端研究領域の深化を図る。

#### (2) 方向性

ア 28年度から3年間を目途に両研究科の統合に向けた準備を行う。

イ 統合後は、そのメリットを活かし、シミュレーション科学分野、データサイエンス分野、人工知能分野、医療・ヘルスケア分野、セキュア情報科学分野の5分野で世界トップレベルの研究を推進するとともに、各分野をリードする人材を育成する。

#### (3) 統合の目標年次

平成32年度

### 4 共通教育組織の在り方

ア 「全学共通教育改革の基本方針」(平成27年12月)に基づく共通教育の具体的な検討と並行して、総合教育機構を中心とした共通教育組織の在り方を検討する。その際、共通教育組織と経済学部・経営学部及び環境人間学部の再編内容との整合を図る。

イ 教職課程についても全学的な視点から実施体制を含めて在り方を検討し、共通教育組織及び学部・学科等の再編内容に反映する。

### 5 その他

上記の組織再編に当たっては、再編目的を実現する上で必要と認められる場合、可能な範囲で新規教員の採用枠を措置する。

#### 【参考】再編までのスケジュール

区分	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
経済・経営学部	内容具体化	カリキュラム検討	文科省手続	再編 	
環境人間学部	コース・科目検討	文科省手続	再編 		
情報系大学院	統合に向けた取組		>	文科省手続	統合 
(参考)	シミュレーション科学研究科と計算科学研究機構(AICS)との連携大学院準備		連携カリキュラムスタート 		